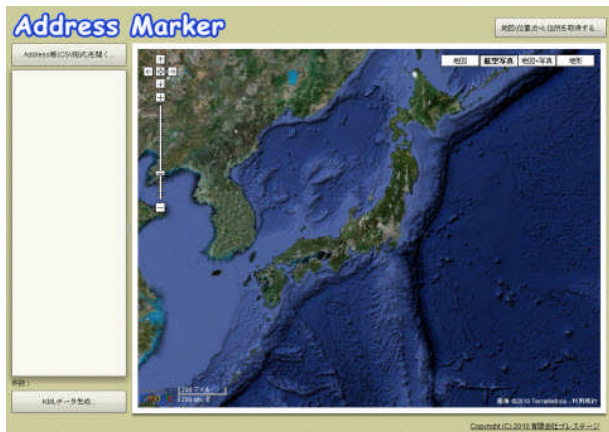


■概要

『Address Marker』はAddress帳(CSV形式)を読み込み、Google Map上にマーカー(目印)を表示するソフトウェアです。更に、取得した緯度・経度情報を、KMLファイルとして保存する事ができます。作成したKMLファイルはそのまま『Google Earth』でプレイスマーク集として活用することができます。



弊社ではソフトウェアの受託開発サービスを行っております。案件等がありましたら、お気軽にご相談下さい。

有限会社プレステージ

福島県双葉郡浪江町川添字蔵前28 ツインズ103

tel.(0240)24-0009 / fax.(0240)24-0010

<http://www.prestigesoftwaretools.net/>

e-mail xlc01706@nifty.com

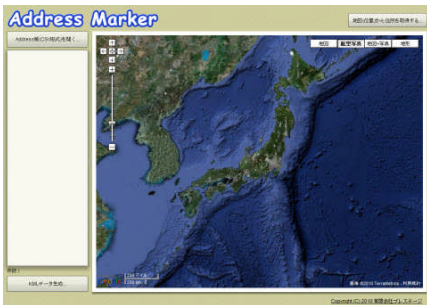
■動作環境について

●Web版

- ・目安となる解像度 SVGA(800×600)以上
- ・OS Windows他
- ・ブラウザ Microsoft Internet Explorer 7.0/8.0他
- ・プラグイン Adobe Flash Player(最新バージョン)
- ・インターネット接続環境 ADSL 1.0Mbps以上の
常時接続インターネット回線

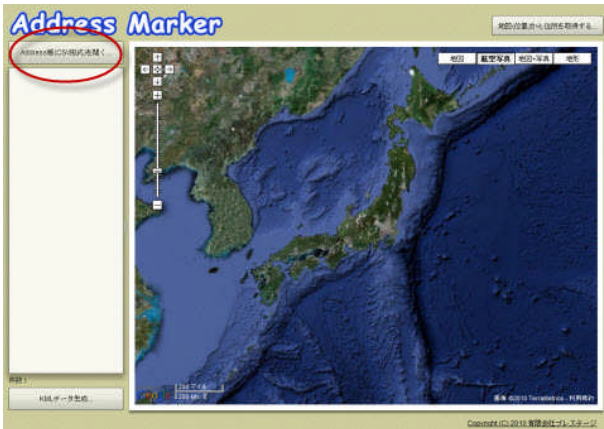
●DeskTop(AIR)版

- ・目安となる解像度 SVGA(800×600)以上
- ・ランタイム Adobe AIR 2.0以上
- ・OS Windows他(上記ランタイムに依存)
- ・インターネット接続環境 ADSL 1.0Mbps以上の
常時接続インターネット回線

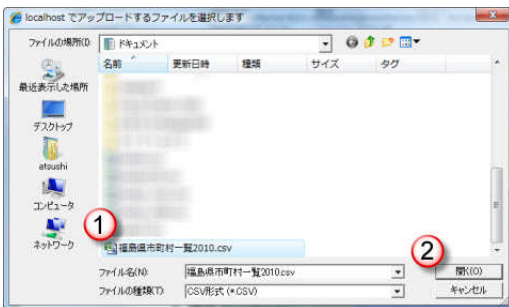


■Address帳(CSV形式)を開く

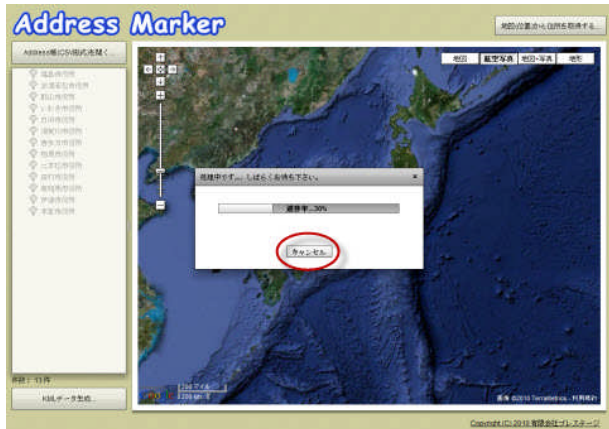
- ・画面左上の「Address帳(CSV形式)を開く...」ボタンをクリックして下さい。



- ・CSVファイルの選択画面が表示されますので、(1)ファイル名を選択後、(2)「開く」ボタンをクリックして下さい。指定したファイルがそのままサーバーに転送されることはありませんのでご安心下さい。

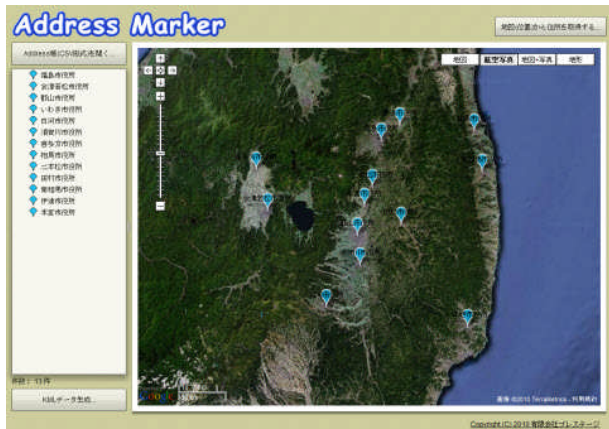


・Address帳の読み込み完了後、ジオコード処理(住所から緯度・経度
を得る処理)を行います。

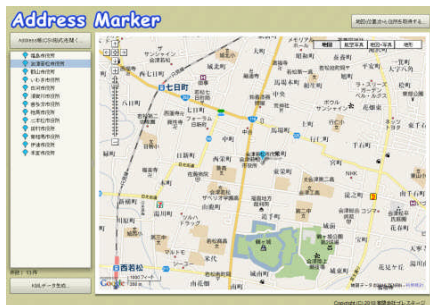


Address帳の件数が多い場合、ジオコード処理の終了を待てない場合は、**キャンセル**ボタンをクリックする事で処理を中止できます。

全データについてジオコード処理が終了すると、すべてのマークが確認できる適切なサイズにズームして終了します。なお、インターネット回線の状況や、その他事由により、緯度・経度が取得できない場合もあります。再読み込みを行う事で、取得できる場合もありますので、お試しください。

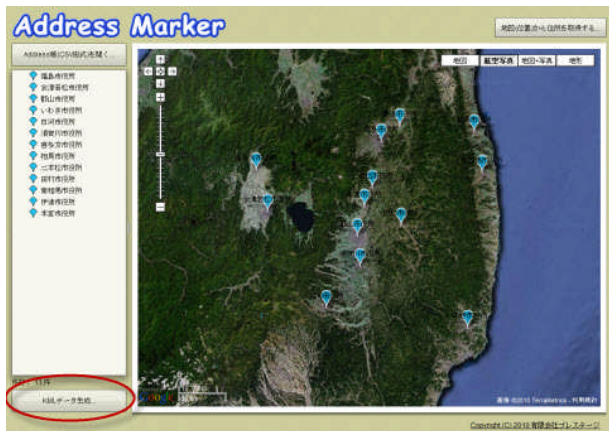


表示されている地図はGoogleMap同様、表示タイプを変更する事も可能です。



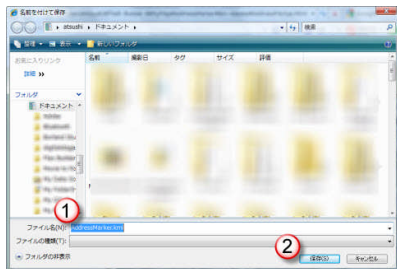
■KMLデータ作成

『KML』は『Google Earth』などで活用可能な地理データの表示に使用されるファイル形式です。『Address Marker』ではプレスマーク集としてKMLファイルを作成します。画面左下の「KMLデータ作成...」をクリックして下さい。

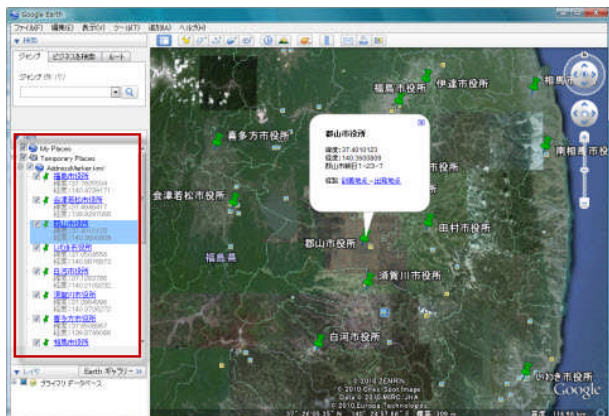


マーカー位置がズれている場合は、マーカーを移動することができます。KMLファイル作成時は、移動後の緯度・経度情報を利用します。

(1)保存する際のファイル名(標準でAddressMarker.kmlとしています)を入力し、(2)保存ボタンをクリックして下さい。

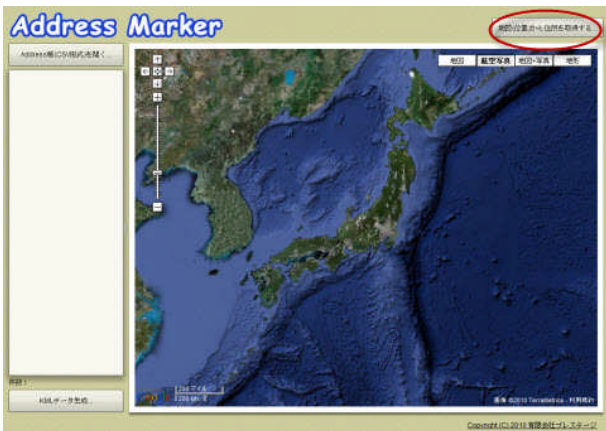


『Google Earth』を起動し、「ファイル」ー「開く」で作成したKMLファイルを選択するか、作成したKMLファイルのダブルクリックして下さい。プレイスマーク集が画面左側(以下、赤枠表示部)に表示されます。



■地図(位置)から住所を取得する

地図上の任意の位置から住所を取得することができます。画面右上の
地図(位置)から住所を取得する..ボタンをクリックして下さい。



なお、取得した住所が必ずしも正しいとは限りませんのであらかじめご了承ください。

